

2 海上の森センターのCOP10の支援の取組について

1 生物多様性普及啓発事業

生物多様性について理解を深めるため、海上の森で学び、体感する生物多様性セミナーの開催と冊子「見てある記」の発行

○ 生物多様性セミナー（2回開催）

第1回 平成22年8月29日（日）、第2回 平成22年10月10日（日）

参加者 20名

参加者 29名

・講師 鉄崎 幹人 氏

（アウトドアタレント、COP10なごや生物多様性アドバイザー）



○ 海上の森生物多様性 冊子「見てある記」の発行

生物多様性セミナー、COP10エクスカージョンなどで利用する海上の森の生物多様性を知ってもらうため冊子（日本語、英語版）

・発行部数 各1,000部

2 COP10パートナーシップ事業

COP10を盛り上げるため、パートナーシップ事業として登録

○ 生物多様性普及啓発事業（前出）

○ 人と自然の共生国際フォーラム

愛知万博の理念や成果を継承し人と自然が共生する持続可能な社会づくりに向けた大きな潮流を創り出すため、２００７年から１０年間にわたって開催

○ あいち海上の森大学

愛知万博の理念や成果を継承し発展させるため、国内を始め海外との連携や交流を視野に、森林や里山を軸として人と自然との関わりを探求し、持続可能な社会づくりを目指す取組の一翼を担う人材を育成する。２００７年から１０年間にわたって開校

○ 海上の森体験学習プログラム

海上の森の四季を通じて楽しみながら自然とふれあい、語り合い、考え、森林や里山の重要性の理解と保全に通じる、森・里の教室、生物多様性ツアーなどの体験学習プログラム

3 エクスカーション等への対応

COP10のエクスカーションを始めとして来訪団体に海上の森の生物多様性などについて紹介

○ COP10関連の来訪団体等

行 事 名	期 日	参 加 者
子ども COP10 あいち・なごや	平成22年8月4日（水）	県内小中学生 66名
COP10 発表・交流事業「地球のいのち・交流ステーション」行事スタンプラリー	平成22年10月10日（日） 17日（日）、24日（日） の3日間	一般
石原良純と歩く 里山ふれあい散策 in 海上の森	平成22年10月23日（土）	一般 40名
COP10 エクスカーション	平成22年10月23日（土）	会議関係者 約40名

○ その他の訪問団体

行事名	期 日	参加者
国際会議「都市における生物多様性とデザイン」ミッド・エクスカーション	平成22年5月20日(木)	国内外研究者等 30名
エコロキッズ環境体験教室「里山の恵みを知ろう」海上の森	平成22年5月23日(日)	小中学生30名
地域開発国際研修コース	平成22年5月27日(木)	開発途上国の地方自治体職員11名
桜井駅周辺地区まちづくり委員会見学会	平成22年8月6日(金)	委員50名
日本の環境を守る「若武者育成塾」合宿	平成22年8月10日(火)	高校生25名
IUCN Prees Trip	平成22年10月23日(土)	国内外メディア関係者等 15名
COP10 さとやまネット青空塾	平成22年10月23日(土)	家族80名

※関連整備

海上の里のため池整備と農地の再生、保全



4 情報発信

海上の森の生物多様性などについて情報発信等

- COP10白鳥会場の愛知県ブースで海上の森の生物多様性や保全、活用の取組の紹介（併せて、人と自然の共生国際フォーラムの開催趣旨とフォーラム宣言の情報発信）

区 分	日 時	内 容
パネル展示	平成22年10月23日、から26日まで（4日間）	・海上の森自然や保全・活用の取組の紹介 ・人と自然の共生国際フォーラムの開催趣旨とフォーラム宣言の紹介
プレゼンテーション	平成22年10月24日 （午前10時、午後0時30分） 平成22年10月25日 （正午、午後2時30分） 平成22年10月26日 （正午、午後2時30分）	上記の内容をパワーポイントにより紹介

- 海上の森センター展示スペースでの生物多様性PR
生物多様性についてパネルにより解説展示